

学生という立場を活かした緊急人道支援

ーリトル・ヤンゴンでの活動を考えるー

1. セッションの概要

本セッションでは、どのようなことが学生ならではの利点かを検討したうえで、高田馬場周辺における社会貢献活動の具体案について検討します。支援活動の対象は、新宿区高田馬場のリトル・ヤンゴン（ミャンマーからの難民によって形成された場所）に居住する人々です。支援活動は、リトル・ヤンゴン・プロジェクトを通じて実施する予定です。緊急人道支援学会に所属する専門家の知見や技術を活かす方法の検討も行います。

2. セッションの構成

セッションの内容は、

1. 緊急人道支援に関する研究発表
2. リトル・ヤンゴンの紹介
3. リトル・ヤンゴン・プロジェクトの活動紹介
4. 支援プロジェクトの検討

から構成されています。

<1. 緊急人道支援に関する研究発表>

東京女子大学の学生2チームが、それぞれ、自分の研究内容の発表を行います。

<2. リトル・ヤンゴンの紹介>

早大の卒業生1名が、リトル・ヤンゴンの歴史や課題に関する報告を行います。

<3. リトル・ヤンゴン・プロジェクトの活動紹介>

プロジェクト・メンバーが、活動内容についての紹介を行います。

<4. 支援プロジェクトの検討「その支援、本当に住民の役に立っている？」>

セッション参加者全員で、実現可能な支援活動について検討を行います。

3. セッションのスケジュール

合計 90 分で、

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| はじめに（趣旨説明） | : 5 分 |
| 1. 緊急人道支援に関する研究発表 | : 30 分（連名 20 分、個人 10 分） |
| 2. リトル・ヤンゴンの紹介 | : 10 分 |
| 3. リトル・ヤンゴン・プロジェクトの活動紹介 | : 10 分 |
| 4. 支援プロジェクトの検討 | : 30 分 |
| おわりに（まとめ） | : 5 分 |

4. セッションのメンバー

企画者：佐々木俊介（早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター）

共同企画者：高柳妙子（東京女子大学現代教養学部）

発表者（学生および新卒 1 年目）

大高なゆ（東京女子大学現代教養学部 4 年）

星子佳乃子（東京女子大学現代教養学部 3 年）

富樫 和花（東京女子大学現代教養学部 3 年）

村松那奈（東京女子大学現代教養学部 3 年）

高木帆花（東京女子大学現代教養学部 3 年）

阿部舞優（ソフトバンク株式会社）

落合沙英（早稲田大学文学部 3 年）